

trade**signal** Lite Version

Liteライセンス

— 発注・操作ガイド —

Ver.20091201



ひまわり証券
sec.himawari-group.co.jp

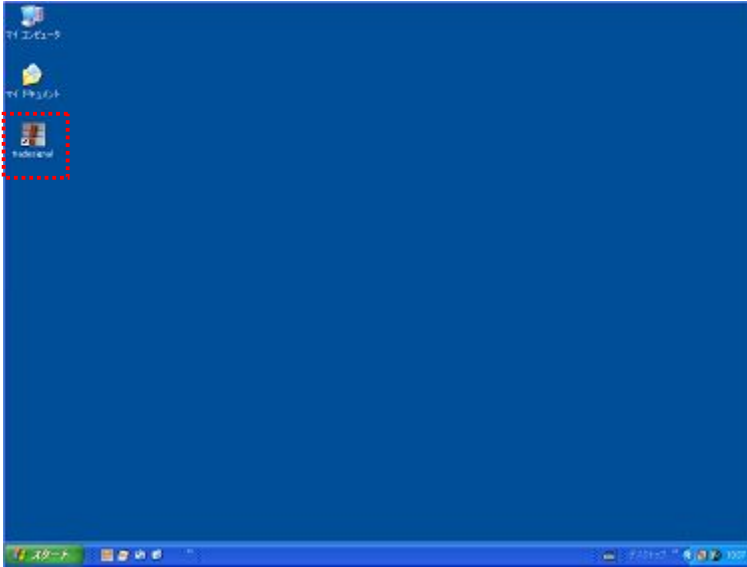
発注・操作ガイド

～目次～

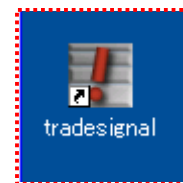
1. 「トレードシグナルLite」にログイン	P3
2. 「トレードシグナルLite」のご紹介	P5
3. チャートを表示	P7
4. 株価指数先物のシンボル	P9
5. Lite用発注ルートの作成	P10
6. Lite用発注ルートの適用	P13
7. Liteの画面構成	P15
8. 新規注文	P17
9. 決済注文	P21
10. 全決済注文	P23
11. 逆指値付注文	P25
12. つなぎ足の作成	P30
13. インディケータの適用	P35
14. プライスラダーの表示	P37

1. 「トレードシグナルLite」にログイン

Step 1



デスクトップの tradesignal のショートカット をダブルクリックしログイン画面を表示します。



Step 2



ユーザー名・パスワードを入力しトレードシグナル開始 をクリックします。

ユーザー名:
ts12345678

パスワード:

ログイン情報を記憶する

*重要注意事項(自動発注機能をご利用になる場合は必ずお読みください)

●トレードシグナル開始

次ページ

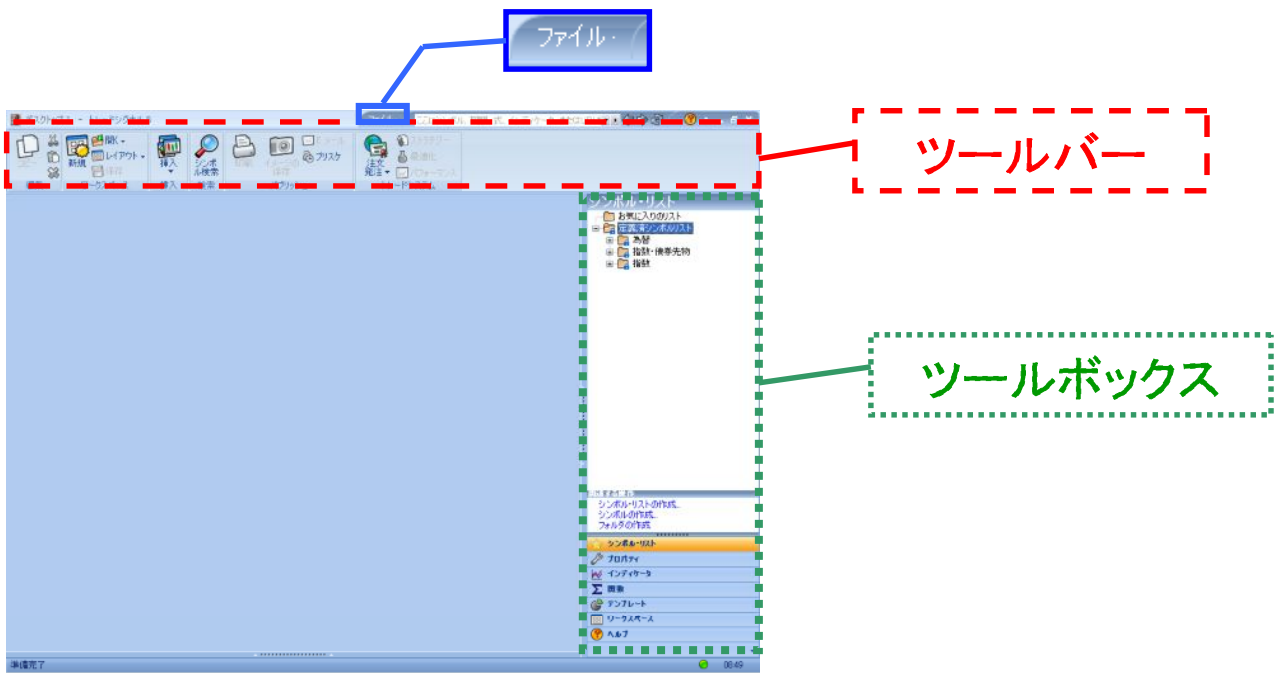
1. 「トレードシグナルLite」にログイン

Step 3



ログインが完了すると自動的に「ダウンロードセンター」ワークスペースが立ち上がります。

2. 「トレードシグナルLite」のご紹介



ファイル:

ファイル

トレードシグナルに保存されているファイルの読み出し、保存などの操作を行います。

トレードシグナルの設定画面を表示させることもできます。

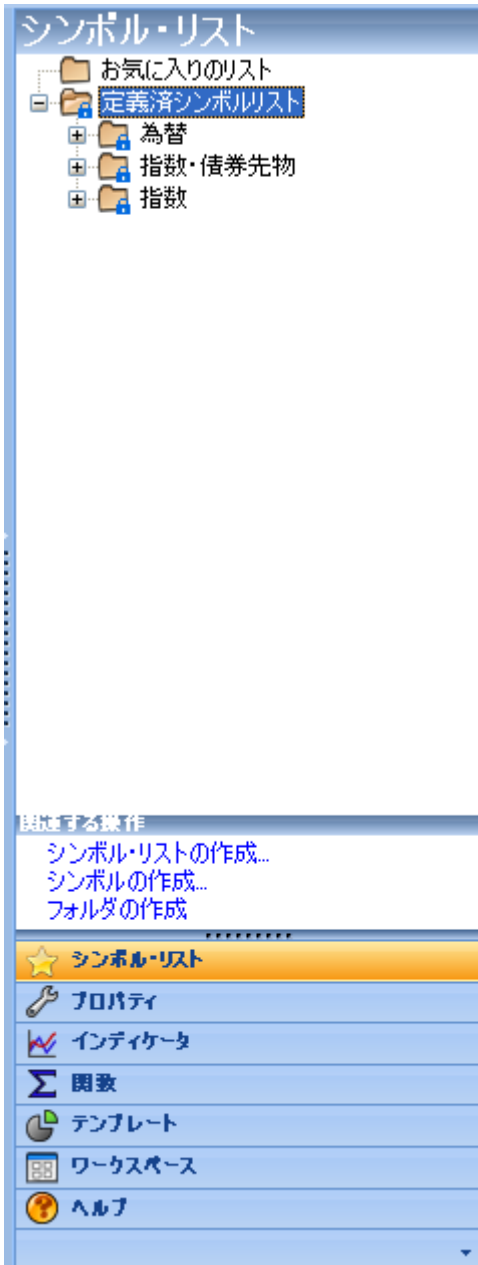
ツールバー:



チャートの追加や設定の保存などが行えます。

2. 「トレードシグナルLite」のご紹介

ツールボックス:



トレードシグナルで作成・保存しているファイルを呼び出したり、ヘルプで機能を検索することができます。

・シンボルリスト(= 銘柄リスト)
 あらかじめ登録されているシンボル(= 銘柄)を呼び出すことができます。

・プロパティ
 チャートの表示設定などを変更することができます。

・インディケータ(= テクニカル指標)
 移動平均やMACDなどをチャートに表示することができます。

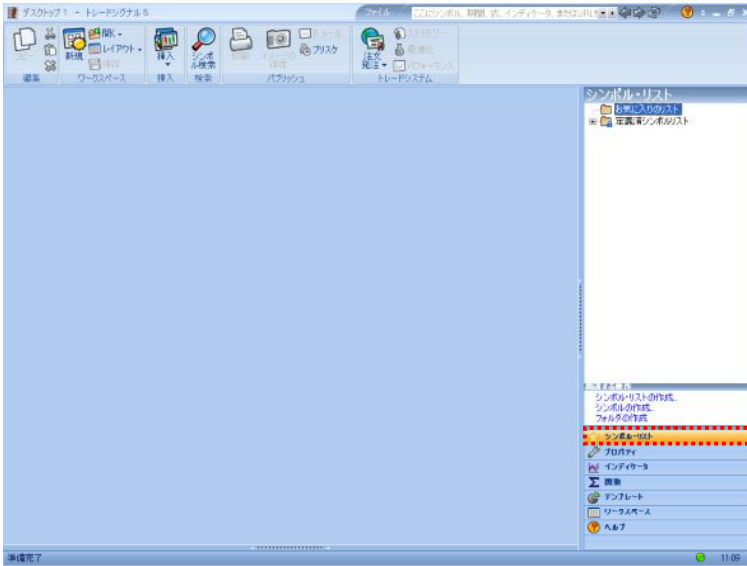
・ワークスペース
 保存しているワークスペースを表示することができます。

・ヘルプ
 機能を検索することができます。

※関数やテンプレートの詳細につきましては、トレードシグナルユーザーガイドをご参照ください。

3. チャートを表示

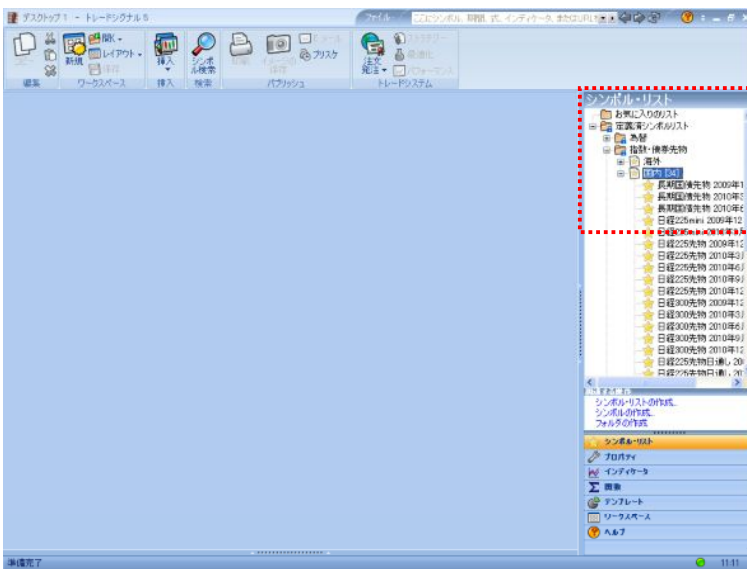
Step 1



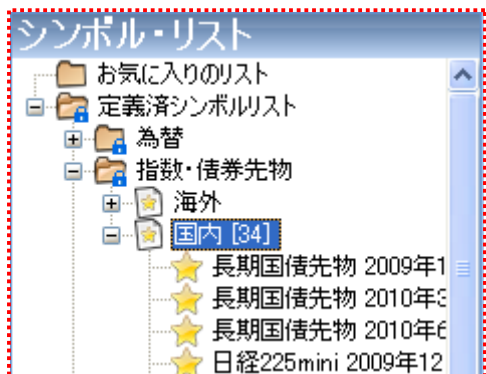
ツールボックスにあるシンボル・リストをクリックします。

★ シンボル・リスト

Step 2



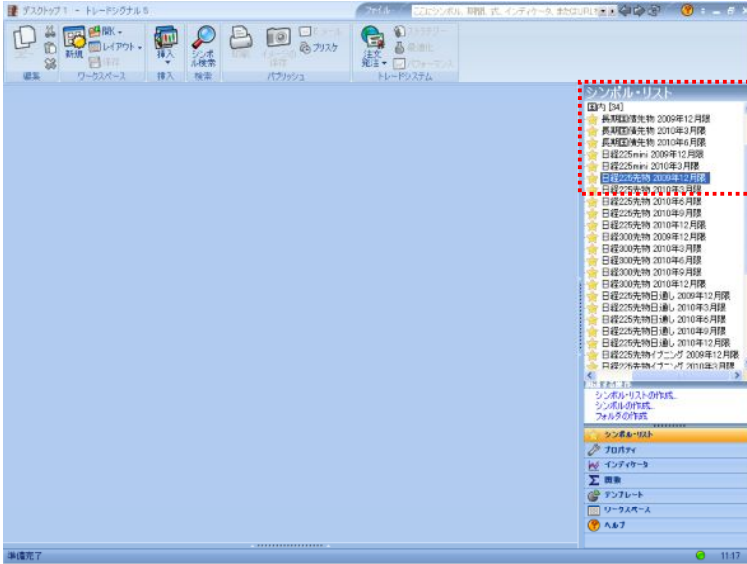
定義済みシンボルリスト – 指数・債券先物 – 国内と選択



次ページ

3. チャートを表示

Step 3



表示させたいシンボル(=銘柄)をダブルクリックします。



Step 4



チャートが表示されました。

チャートの種類は、「ツールバーの「チャートのタイプ」より変更が行えます。

チャートの期間は、「インターバル」より変更が行えます。



4. 株価指数先物のシンボル

a. シンボルの定義

N225 2010H

※N225 と 2010H の間には半角スペースが入ります。

株価指数先物のシンボル
コードは

シンボルコード + **限月**
といった定義となります。

b. シンボルコード

◆日経225先物

N225

日中取引(9:00~15:10)のチャートを表示

NIE

夕場取引(16:30~20:00)のチャートを表示

NIC

日中取引 + 夕場取引(9:00~20:00)の表示

◆日経225mini

MN225

日中取引(9:00~15:10)のチャートを表示

NME

夕場取引(16:30~20:00)のチャートを表示

NMC

日中取引 + 夕場取引(9:00~20:00)の表示

◆TOPIX先物

TOPIX

日中取引(9:00~15:10)のチャートを表示

※TOPIX先物は夕場データに対して非対応となっております。

c. 限月

2010年3月

2010H

2010年6月

2010M

2010年9月

2010U

2010年12月

2010Z

5. Lite用発注ルートを作成

Step 1



ツールバーの **注文発注** を選択します。



※トレードシグナルLiteから発注を行う場合は、発注ルートの設定が必要となります。

Step 2



発注ルートのオプションを選択します。



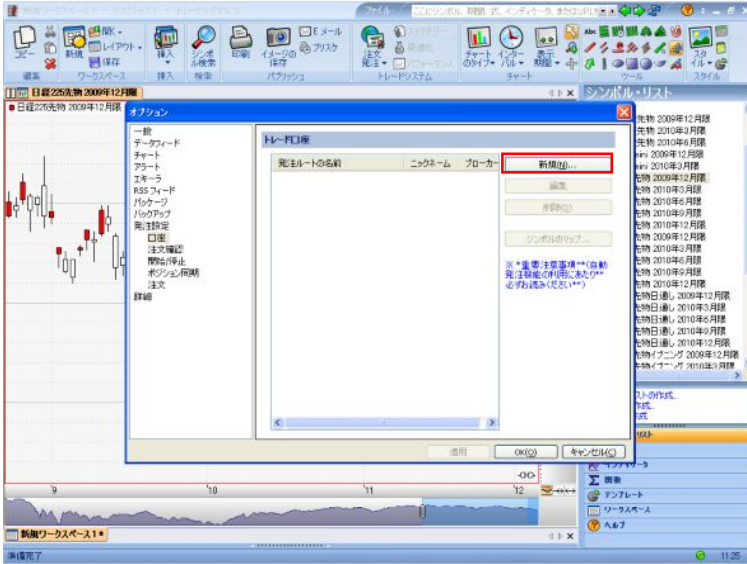
発注ルートのオプション

発注ルートやブローカーの口座を設定します。

次ページ

5. Lite用発注ルートを作成

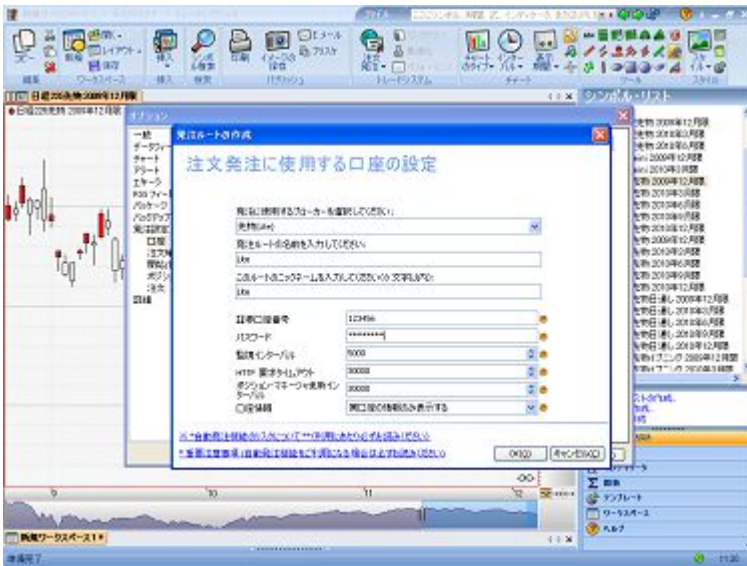
Step 3



新規を選択します。

新規(N)...

Step 4



発注ルート作成のウィンドウが表示されます。

次ページ

5. Lite用発注ルートを作成

Step 5

発注ルートの作成

注文発注に使用する口座の設定

発注に使用するブローカーを選択してください:

① 先物(Lite)

発注ルートの名前を入力してください:

② Lite

このルートのニックネームを入力してください(8文字以内):

③ Lite

証券口座番号 ④ 123456

パスワード ⑤ *****

監視インターバル 5000

HTTP 要求タイムアウト 30000

ポジション・マネージャ更新インターバル 30000

口座情報 実口座の情報のみ表示する

※ *自動発注機能のリスクについて** (利用にあたり必ずお読みください)
*重要注意事項 (自動発注機能をご利用になる場合は必ずお読みください)

⑥ OK(O) キャンセル(C)

- ① ブローカーを選択
→「先物(Lite)」を選択
- ② 発注ルート名の入力
任意の半角英数字
- ③ ニックネームの入力
任意の半角英数字
(8文字以内)
- ④ 証券口座番号を入力
先物&オプション WEBの
口座番号を入力
- ⑤ パスワードを入力
先物&オプション WEBの
パスワードを入力
- ⑥ OK で登録完了

【ご注意】 → 以下の確認を行ってください。

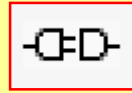
1. 発注ルートの設定は半角入力されていますか？
2. ニックネームの設定は半角入力されていますか？
3. 証券口座番号とパスワードは正しく入力されていますか？
4. ①～⑤の項目は、すべて入力されていますか？

6. Lite用発注ルートへの適用

Step 1



チャート右下すみにある



プラグアイコンをクリックします。

※トレードシグナルLiteから発注を行う場合は、P10で作成した発注ルートの適用が必要となります。

Step 2



発注ルートのオプションを選択します。

ストラテジー発注 - 視認方法の選択

注文発注機能を使用しない
ポジション・マネージャに注文を反映する

自動発注 - 発注ルートの選択

Lite

P10で作成した発注ルートを選択します。

次ページ

6. Lite用発注ルートへの適用

Step 3



プラグアイコンがニックネームに変わり、緑になれば接続完了です。

Lite

7. Liteの画面構成

- 図1 -

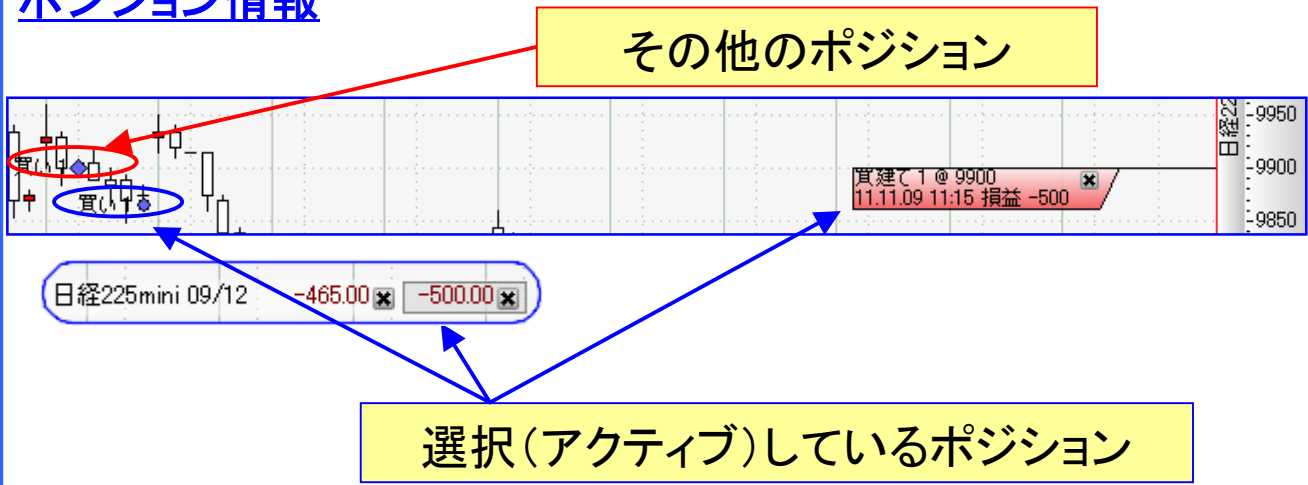


発注コマンド:
発注を行います。

プロパティ:
注文ラベルの表示などを
設定します。

ポジション情報:
ポジションの表示を行
います。

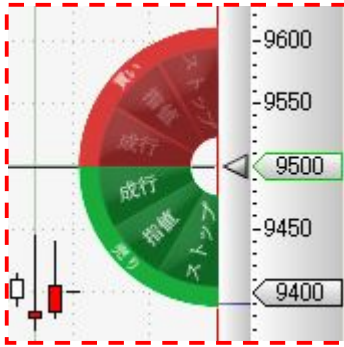
ポジション情報



※ポジション情報はチャート下部に表示され、新しいポジションは右側に追加されていきます。
図1の場合、“-465.00”は古いポジションで、“-500.00”が新しいポジションとなります。

7. Liteの画面構成

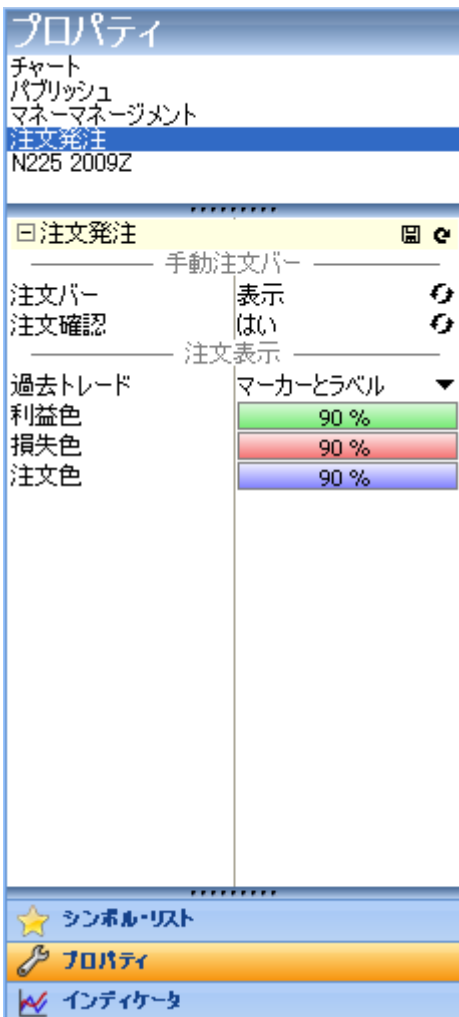
発注コマンド



価格軸・左側の注文バー（濃いグレー部分）にオンマウスさせ、クリックすると発注コマンドが表示されます。

発注コマンドを使用すれば、チャート上より「成行」・「指値」・「ストップ」注文を発注することができます。

プロパティ



ツールボックスのプロパティをクリック



ツールボックス上部に表示されるプロパティの中から 注文発注 を選択。

注文バー

「非表示」を選択すると注文バーは表示されなくなります。

注文確認

「いいえ」を選ぶと確認の画面が即時に発注されますので「はい」を推奨

過去トレード

「非表示」を選択すると過去トレード（トレード履歴）は表示されなくなります。

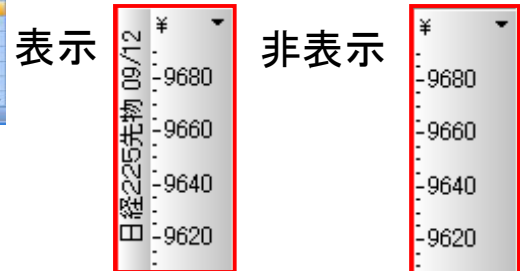
8. 新規注文

Step 1



価格軸に注文バーが「表示」になっているかを確認します。

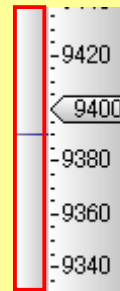
注文バーがオフ「非表示」の場合は、プロパティの注文発注より「表示」にしてください。 P16参照



Step 2



価格軸の左側の注文バーにオンマウスさせクリックします。



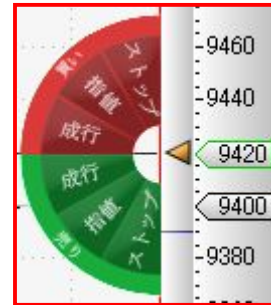
次ページ

8. 新規注文

Step 3



発注コマンドが表示されます。



Step 4



表示された発注コマンドのそれぞれの執行条件にオンマウスすると「数量」・「条件」が選択できます。



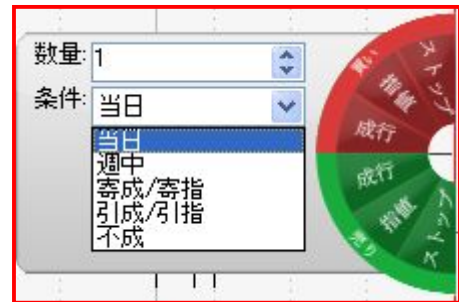
次ページ

8. 新規注文

Step 5



注文の条件は「当日」・「週中」・「寄成/寄指」・「引成/引指」・「不成」から選択が可能です。



Step 6



数量:1、条件:当日、
買い成行を選択した場合
「買い 1 at Market」と確認
表示がされます。

買い 1 at Market

「注文の承諾」の“✓”を選
択すると発注されます。

“×”を選択すると取り消さ
れます。



次ページ

8. 新規注文

Step 7



約定すると建玉数量、約定値、約定日時が表示されます。

買建て1@ 9400
11.25.09 12:31 損益 0

買建て1@ 9400
11.25.09 12:31 損益 0

- 補足 -



追加注文を出す場合は、チャート右下の **新規** をクリックして注文バーをクリック (Step2) し、発注コマンドを表示させてください。追加注文を出すことができます。

新規

9. 決済注文

Step 1



チャート下部に表示されているポジションを選択

日経225先物 09/12 +10.00 × +0.00 ×

表示されるポジションを確認し、“×”をクリックします。

買建て1 @ 9400
11.25.09 12:31 損益 10

※ここでは最も古いポジションを選択し、決済を行います。

Step 2



「ポジションの決済」の“✓”を選択すると発注されます。

“×”を選択すると取り消されます。

ポジションの決済 ✓ ×
買建て1 @ 9400
11.25.09 12:31 損益 20

次ページ

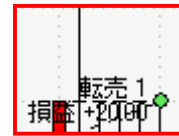
9. 決済注文

Step 3



決済価格に合わせ、点線で描画されます。

転売 1
損益 +20.00



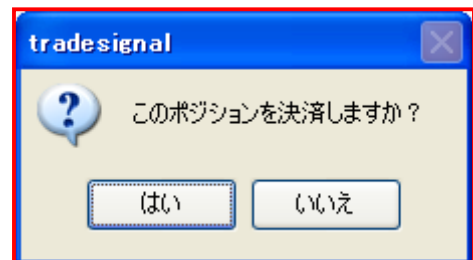
- 補足 -



チャート下部に表示されているポジションの

日経225先物 09/12 +10.00 × +0.00 ×

“×” からでも選択したポジションを決済することが可能です。



10. 全決済注文

Step 1



チャート右下のポジション情報欄にある全決済を選択します。

全決済

※全決済は選択されている銘柄のポジション全てを決済する機能です。
未約定の注文も全て取り消されます。

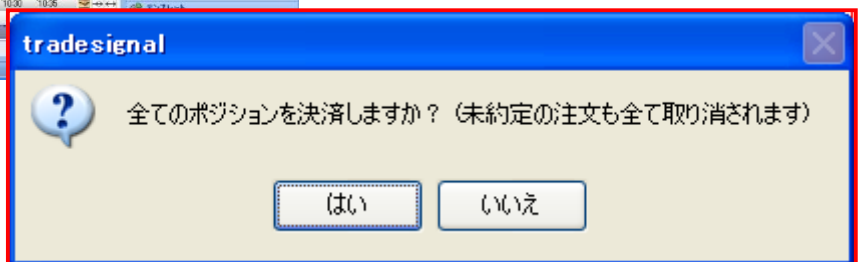
Step 2



全てのポジションを決済しますか？ と表示されます。

はい この銘柄の全てのポジションを決済します。

いいえ この操作の取り消しを行います。



次ページ

10. 全決済注文

Step 3



全てのポジションが決済されました。

全てのポジションが決済されたので、ポジション情報欄から表示がなくなり、全決済ボタンもグレーアウトされました。



11. 逆指値付注文

Step 1



チャート下部に表示されているポジションを選択

+5.00

表示されるポジションを確認します。

買建て1@9230
11.30.09 09:16 損益 5

※ここでは最も新しいポジションを選択し、逆指値付注文を行います。

※逆指値付注文は決済時のみ使用することができます。

Step 2



価格軸の左側の注文バーにオンマウスさせクリックします。

9250
9230
9200
9150

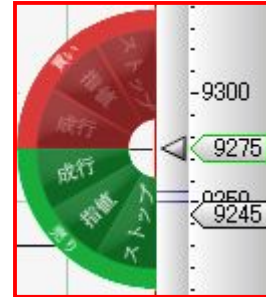
次ページ

11. 逆指値付注文

Step 3



発注コマンドが表示されます。



Step 4



表示された発注コマンドにオンマウスすると「数量」・「条件」を選択できます。



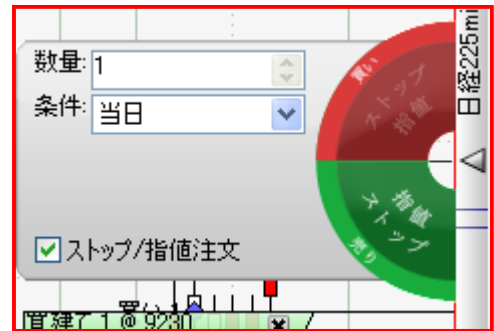
次ページ

11. 逆指値付注文

Step 5



ストップ/指値注文のチェックボックスを選択、発注コマンドのルーレット部分をクリックします。



※ここで表示されているストップ/指値注文とは、逆指値付注文のことです。

Step 6

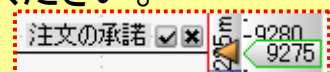


転売 1 Limit 9275
転売 1 Stop 9210

と表示されます。



指値と逆指値の値段を変更する場合は、ストップもしくは指値の価格を示す◀をクリックし上下に動かしてください。



次ページ

11. 逆指値付注文

Step 7



ストップと指値のラインが決まりましたら価格を確認します。

転売 1 Limit 9280
転売 1 Stop 9200

転売 1 Limit / 注文の承諾 × 9280

転売 1 Stop / 注文の承諾 × 9200

Step 8



「注文の承諾」の“✓”を選択すると発注されます。

“×”を選択すると取り消されます。

注文の承諾 ✓ 9200

次ページ

11. 逆指値付注文

Step 9



ストップ/指値注文が発注されました。

- 補足 -



未約定(待機中)の指値/逆指値の価格を変更する場合は、指値もしくは逆指値の価格を示す◀をドラッグして上下に動かし、最後に“✓”をクリックしてください。

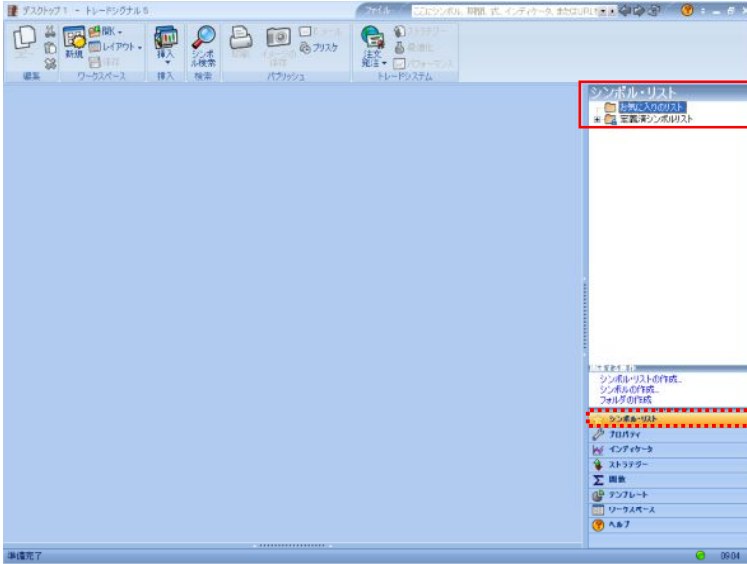
注文の変更 ✓✕ ◀ 9180

取り消す場合は、チャート上のマーカーについている“✕”から行ってください。

転売 ↑ Limit ✕

12. つなぎ足の作成

Step 1



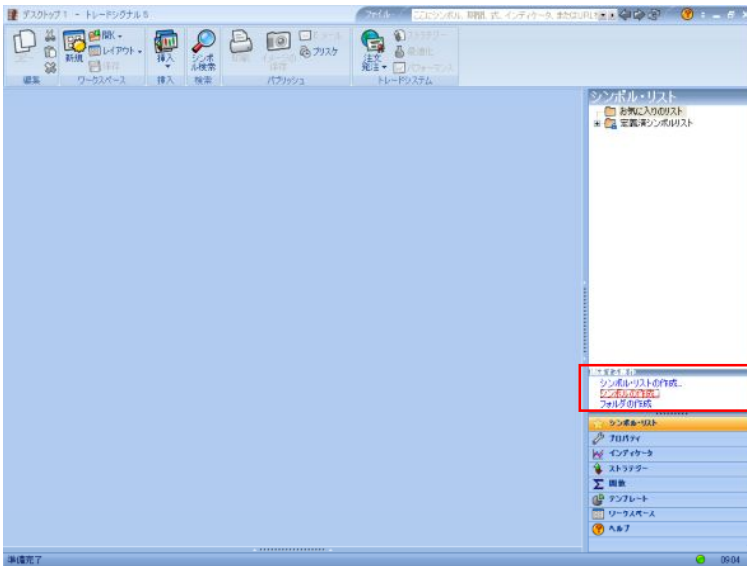
ツールボックスにあるシンボル・リストをクリックし

★ シンボル・リスト

シンボル・リストにあるお気に入りのリストを選択します。

シンボル・リスト
お気に入りのリスト
定義済シンボルリスト

Step 2



関連する操作のシンボルの作成を選択

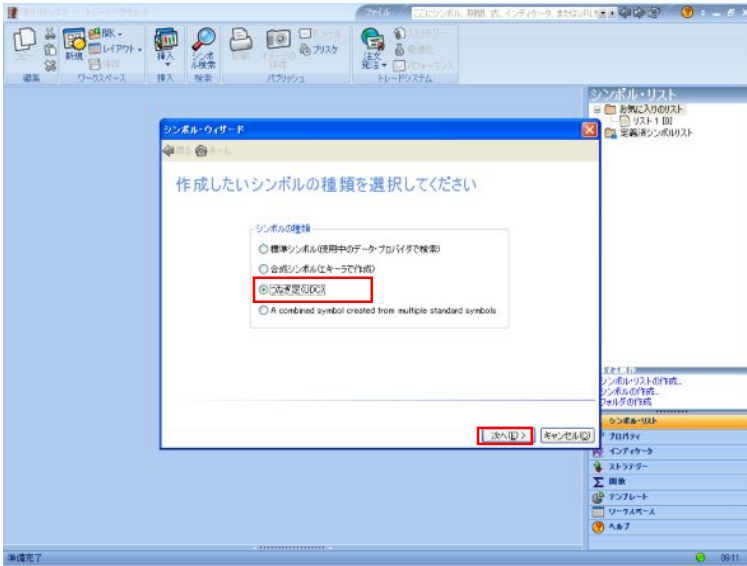
関連する操作

シンボル・リストの作成...
シンボルの作成
フォルダの作成

次ページ

12. つなぎ足の作成

Step 3



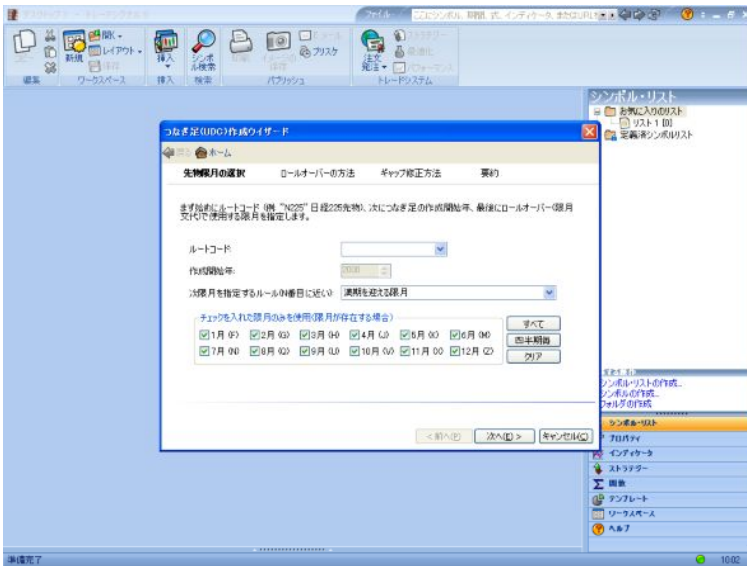
シンボル・ウィザードの
つなぎ足(UDC) を選択し

つなぎ足(UDC)

次へ(E) を選択します。

次へ(E) >

Step 4

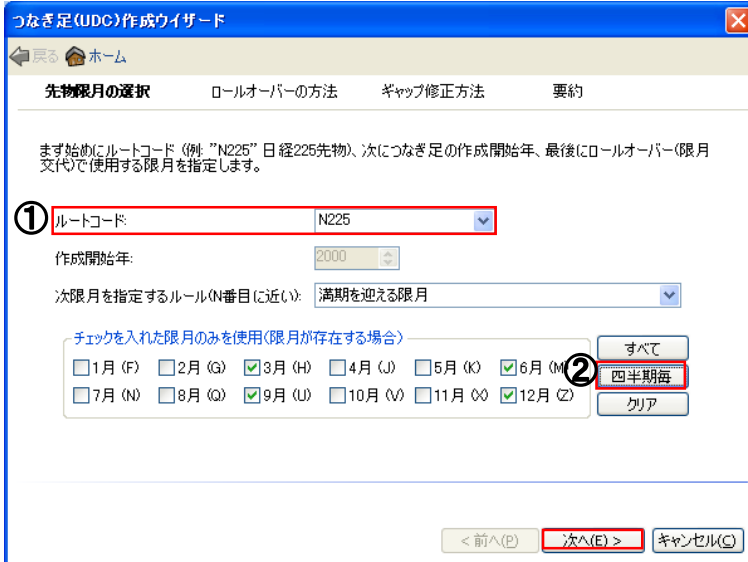


つなぎ足(UDC)作成ウィザード
が表示されます。

次ページ

12. つなぎ足の作成

Step 5



先物限月の選択

① ルートコード: にシンボルコードを入力します。

② 四半期毎 を選択

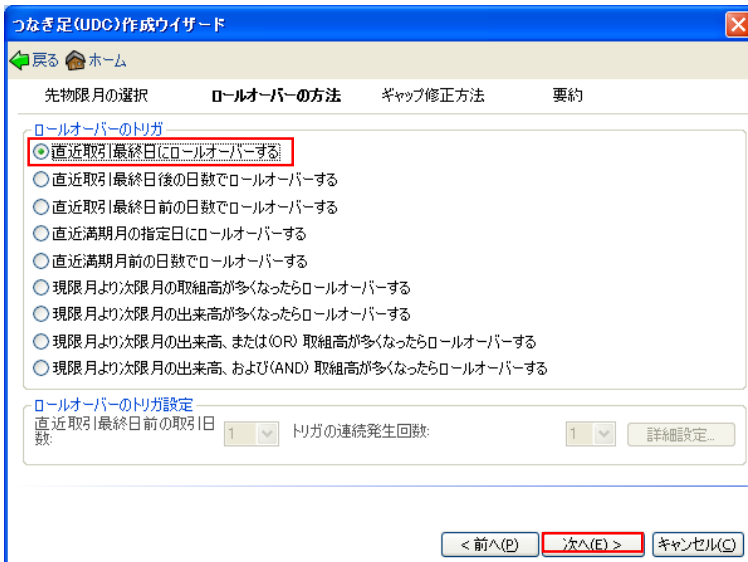
四半期毎

次へ(E) を選択します。

次へ(E) >

※シンボルコードはP9をご参照ください。

Step 6



ロールオーバーの方法
ロールオーバーのトリガを
直近取引日最終日にロール
オーバーする を選択

直近取引最終日にロールオーバーする

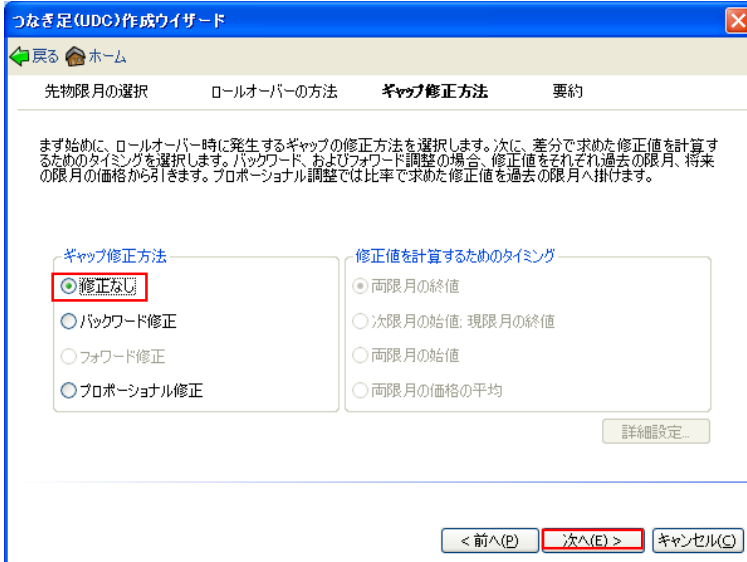
次へ(E) を選択します。

次へ(E) >

次ページ

12. つなぎ足の作成

Step 7



つなぎ足(UDC)作成ウィザード

戻る ホーム

先物限月の選択 ロールオーバーの方法 **ギャップ修正方法** 要約

まず始めに、ロールオーバー時に発生するギャップの修正方法を選択します。次に、差分で求めた修正値を計算するためのタイミングを選択します。バックワード、およびフォワード調整の場合、修正値をそれぞれ過去の限月、将来の限月の価格から引きます。プロポーショナル調整では比率で求めた修正値を過去の限月へ掛けます。

ギャップ修正方法

- 修正なし
- バックワード修正
- フォワード修正
- プロポーショナル修正

修正値を計算するためのタイミング

- 両限月の終値
- 次限月の始値、現限月の終値
- 両限月の始値
- 両限月の価格の平均

詳細設定...

< 前へ(B) **次へ(E) >** キャンセル(C)

ギャップ修正方法

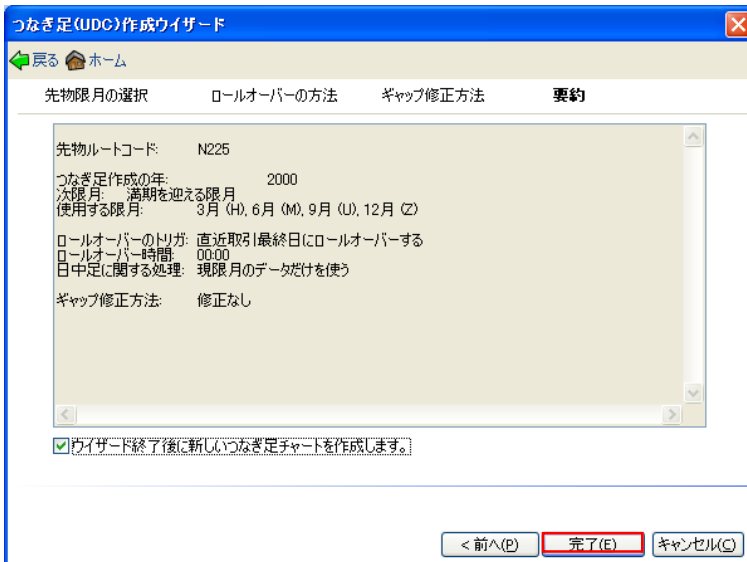
ギャップ修正方法の修正なしを選択

修正なし

次へ(E) を選択します。

次へ(E) >

Step 8



つなぎ足(UDC)作成ウィザード

戻る ホーム

先物限月の選択 ロールオーバーの方法 ギャップ修正方法 **要約**

先物ルートコード: N225
 つなぎ足作成の年: 2000
 次限月: 満期を迎える限月
 使用する限月: 3月(H), 6月(M), 9月(U), 12月(Z)

ロールオーバーのトリガ: 直近取引最終日にロールオーバーする
 ロールオーバー時間: 00:00
 日中足に関する処理: 現限月のデータだけを使う

ギャップ修正方法: 修正なし

ウィザード終了後に新しいつなぎ足チャートを作成します。

< 前へ(B) **完了(E)** キャンセル(C)

要約

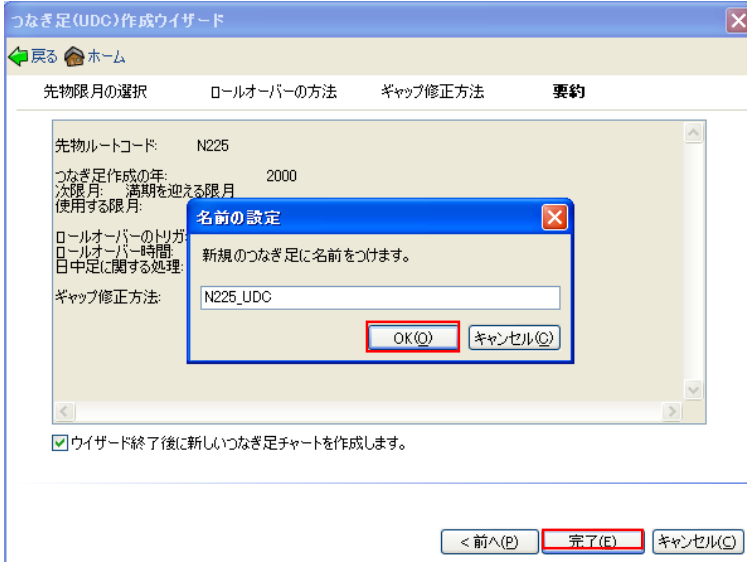
以上の設定を確認し問題なければ完了(E)を選択します。

完了(E)

次ページ

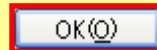
12. つなぎ足の作成

Step 9

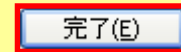


名前の設定

作成したつなぎ足に名前
(任意)を入力し OK(O)



完了(E) を選択します。

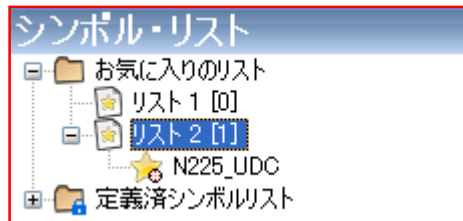


Step 10



つなぎ足が作成され表示
されました。

作成されたつなぎ足は、
シンボル・リストのお気に
入りのリストに保存されま
す。



13. インディケータの適用

Step 1



ツールボックスにある
インディケータ をクリック

インディケータ

ツールボックス上部に
インディケータのリストが
表示されます。

インディケータ

- ADX
- ADX パー
- ADX 移動平均
- ATR

※トレードシグナルLiteでは、テクニカル指標を
インディケータと表示しております。

Step 2



インディケータのリストより
表示させたいテクニカル指
標を右クリックし 適用 を選
択します。

適用

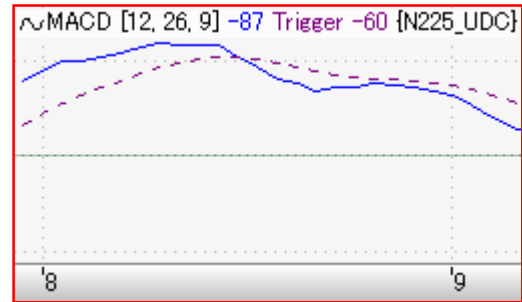
次ページ

13. インディケーターの適用

Step 3

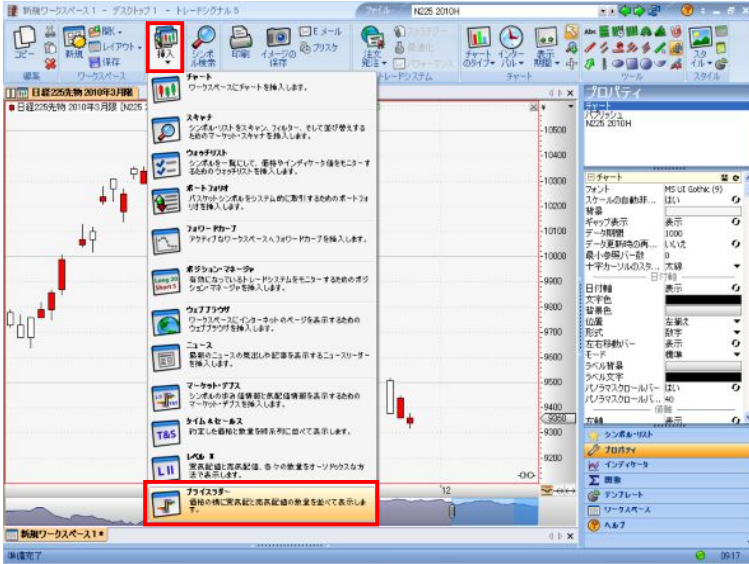


チャートに選択したテクニカル指標が表示されます。



14. プライスラダーの表示

Step 1



ワークスペースのチャートを選択した状態で、ツールバーの挿入を選択します。



プライ斯拉ダーを選択

プライ斯拉ダー
価格の横に買気配と売気配値の数量を並べて表示します。

※プライ斯拉ダーは気配値の板情報を表します。

Step 2



ワークスペースにプライ斯拉ダー(板画面)が追加されます。